

2020年度
能力強化研修

金融包摂と貧困削減

2020年11月4日（水）～11月6日（金）

募集要項



独立行政法人 国際協力機構
人事部開発協力人材室

※本研修はオンラインでの実施となります。

はじめに

途上国では約 20 億人の貧困層が公式な金融サービスから疎外され、持続的な経済成長の足枷となっているといわれており、2015 年に国連で合意された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）においても、金融包摂の促進は、貧困層を貧困撲滅の経済活動に取り入れていくという点で、横断的課題として重要視されています。また、従来のマイクロファイナンスをツールとして活用するといった視点に留まらず、貧困層の金融アクセスを確保し、経済的自立を支援する基盤として、援助アプローチにおいて金融包摂促進に取り組むことが重要であるとの国際的な認識が定着してきています。

また、世界中に感染が拡がり続けている新型コロナウイルスの経済へのダメージは明らかですが、特に貧困層の生活・生計のあらゆる側面に甚大な影響を及ぼすことが分かってきています。

貧困削減のための金融包摂促進は途上国において発展してきた取り組みであり、日本国内での知見や事例はほとんど存在しないことから、JICA 職員のみならず、コンサルタント企業、NGO 等の外部関係者を含めた人材の育成が急務となっています。こうした背景を踏まえ、本コースでは、金融包摂促進に関する国際的な議論及びその変遷と SDGs との関係や、貧困層向けの金融サービスとそれを取り巻く環境について講義や演習等を通じて、実践的な知識を身に付けて頂ける内容となっています。

貧困削減に関わる国際協力業務や金融機関での実務、又は金融包摂やマイクロファイナンスに関連する業務、学術経験をお持ちで、将来にわたって技術協力専門家等として、開発途上国の貧困削減に関与していく意思を持つ方々のご参加をお待ちしています。

1. 応募要件

下記の全ての要件を満たす方とします。

- (1) JICA の専門家・調査団員等として JICA 事業に携わる意志があること
- (2) 全日程に参加可能であること
- (3) 専門能力・経験

以下のいずれかの経験を有すること。

- ① 農業・農村開発、自然環境保全、コミュニティ開発、中小零細企業支援、災害復興支援、その他開発課題における貧困削減に関する 3 年以上の国際協力業務
- ② 金融機関における 3 年以上の実務経験（国内外の金融機関を問わず）
- ③ その他金融包摂/マイクロファイナンスに関連する 3 年以上の業務・学術経験（別紙様式 2 自己申告書の「3. 金融包摂/マイクロファイナンスに関連する業務・学術経験」欄に記述願います。）

(4) 語学力：原則として、以下の語学力以上を有すること。

- ① 英検準 1 級、TOEIC730 点、TOEFL CBT213 点／iBT79 点、国連英検 B 級以上
※保持している語学力に係る公的資格を、履歴書に必ず記載してください（取得年月が新しいものを優先。取得年月も記載すること）。

2. 研修期間、募集人数

- (1) 期間：2020 年 11 月 4 日（水）～ 11 月 6 日（金）
- (2) 募集人数：25 名程度

3. 研修会場

ZOOM 等オンラインでの実施

4. 応募方法

以下の(2)に記載されている提出書類を揃え、締切日までに JICA が運営している国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」（以下、「PARTNER」という。）から応募してください。応募書類の受付後、応募時に「PARTNER」で指定した本人連絡用 E メールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募案件番号（受付番号）を通知します。応募後、3 営業日以内に受領通知が届かない場合は、4 ページ「国際協育人材登録に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

(1) 「PARTNER」への登録

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に国際協力人材登録（簡易登録不可）がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」での人材登録を行ってください。

※新規登録手続きには、3営業日程度を要しますので、お早めに登録ください。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

【PARTNER 登録の注意事項】

同じく入力フォーム 4 ページ目「プロフィールの公開」欄で「希望する」を選択し、公開先には必ず「JICA」を選択してください。

(2) 応募書類

すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICA ホームページ (<http://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html>) からダウンロードしてください。①の履歴書についてのみ、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

① 履歴書

応募に必要な「専門家履歴書」を「PARTNER」上で作成して提出してください（履歴書への写真添付は不要です）。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、「PARTNER」ログイン後、マイページのメニューから作成できます。

② 推薦書

所属先のある方は必ず所属先の研修参加の了承を得てください。推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してください。自営の方や所属先のない方は不要です。所属先にて応募者ご本人が代表を勤めている方も必要ありません。

③ 自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、障害のある方等で合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目（6項目目）に必ず記載をお願いいたします。

(3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください（予め応募書類をご

準備ください)。

- ① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”をクリックして「PARTNER」にログインします。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

- ② 「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「この案件に応募する」をクリックしてください。
- ③ 上記（2）の応募書類を添付してください。

【国際協力人材登録に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局

以下URL、PARTNERホームページの「お問い合わせ」からお願いします。

<https://jicaps.secure.force.com/inquiryedit>

5. 応募締め切り

締切日：2020年9月7日（月）12：00 必着

6. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、2020年10月1日（木）を目途に、下記の「PARTNER」のマイページ上で合格者の応募案件番号（受付番号）を発表します。「PARTNER」にログインし、マイページの「PARTNER からのお知らせ」をご確認ください。書面による通知及び JICA ホームページ上では発表しません。

ご自身の応募案件番号（受付番号）は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信 BOX」で「【PARTNER】公募案件への応募送信完了のお知らせ」を参照ください。

なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答え出来ませんので、あらかじめご了承ください。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

7. 研修概要

(1) 目的

- ① 金融包摂に関する国際的な議論及びその変遷と SDGs 等との関係を理解するとともに、貧困層向けの金融サービスとそれを取り巻く環境について理解する。
- ② プロジェクトの現場における、貧困層向けの金融サービス促進に向けた支援や、こうした金融サービスを連携・導入する際に踏まえるべき事項を理解する。

(2) 内容

(貧困削減と金融包摂)

貧困層の家計の特徴と実態、貧困層へのアプローチを理解する。そのうえで、金融包摂の定義と貧困削減への可能性を確認する。

(金融包摂の国際的潮流と課題)

金融包摂の貧困削減への取り組みの変遷を理解する。そのうえで、貧困削減のための金融サービスによる効果と現在議論されている課題について確認する。

(金融包摂を促進する金融サービス)

貧困削減に資する基本的な金融サービスと、新しい取り組みについて理解する。

(金融包摂における顧客中心主義)

金融包摂における顧客中心主義のアプローチ (Customer-Centric Approach : CCA) を理解する。そのうえで、グループワークを通じ、CCA の実践手法を理解する。

(金融包摂促進における政府・ドナー・民間の役割)

金融包摂促進のためには、政府の役割が重要視されるようになっており、その取り組みを支援するドナーの役割も重要となっている。また資金供給など民間機関の役割も不可欠である。政府・ドナー・民間の役割、連携の範囲と課題及びマーケットシステムアプローチの概念を理解する。

(JICA、他ドナーにおける事例紹介)

JICA や他ドナーが実施した金融包摂促進の支援事例から、成功要因や課題を検討し、今後の支援に取り込むべき内容を議論する。また、JICA・他ドナーとも共通する教訓を理解する。

(3) 日程 (本研修はオンラインで実施されます。)

講義日時	講義・演習名
1日目	導入：金融包摂と貧困削減
	金融包摂を促進する金融サービス
	金融包摂の国際的潮流と課題
	外部講師講義
2日目	演習(金融包摂における顧客中心主義のアプローチ)
	金融包摂促進における政府・ドナー・民間の役割
	事業実施における金融包摂視点の活用
3日目	外部講師講義
	事例の紹介と教訓の抽出
	演習(マーケットシステムアプローチの実践)

※ 講義時間は 9:30 ~16:30 を予定しています。

※ 本日程は、暫定版のため変更の可能性があります。

8. 修了証の発給

全日程を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡しします。

9. 留意事項

- (1) 合理的配慮が必要な方につきましては、お気軽にご相談ください。
- (2) 研修期間中の盗難、紛失、事故等については、JICA は一切責任を負いません。予めご了承ください。
- (3) **研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。**
- (4) 円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- (5) 研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。
- (6) 本研修では、オンラインでの実施となり、また電子データにて講義資料をご覧いただきますので参加者の皆様はご自身のパソコンをご準備ください。

(7) 受講のために必要な経費は自己負担となります。

以上

様式1 推薦書

様式2 自己申告書

—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

【個人情報の利用目的】

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる、各種情報(セミナー・イベントやホームページの案内等)の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

【個人情報の取扱いについて】

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

【応募に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 人事部開発協力人材室(研修管理室)

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル

TEL: 03-3269-3471 E-mail: hrgtc@jica.go.jp